

第17回神のバトン賞 狩俣中学校 平良りんさん受賞

沖縄県内の小中高校生を対象にした詩のコンクール「第17回神のバトン賞」(琉球新報社主催)は、県出身の詩人・山之口獺の生誕100年を記念し、未来の詩人誕生への期待を込めて2003年に創設されました。狩俣中学校の3年生平良さんが中学生の部の最高賞にあたる「神のバトン賞」に選ばれ、7月28日に那覇市泉崎の琉球新報社で開かれた表彰式に参加しました。

平良さんは、学業はもちろん、陸上や部活にも熱心に取り組む努力家です。今回の受賞を受けて、「驚きました。梅雨の時期に、授業で俳句を創作し、それを詩に広げました。授業で習った表現技法に工夫を凝らして作ってみました。これを機会に詩を書き続けていきたいと思います。」と感想を述べています。

地域に見守られ、家庭で育てられ、学校で磨かれた感性を詩として素直に表現できたことが今回の受賞につながりました。



「今日は雨の番」

梅雨の日は
いつもゆううつになる
気分が上がらない

学校に来ると
いつもより教室が
静まり返っている

いつもは聞こえる
おしゃべりの声
チヨークの音

誰かがベンを落とした音
今日は降り続く雨の音に
かき消される

とう突に鳴る
いすを引く音

まるで
「いかげんやんでくれないか」
と言っているようだ

そんな事を気にも止めない雨は
強く降る
今よりもずっと

今日は雨の番
雨が音を奏でる番
チヨークの音も

おしゃべりも
ベンを落とす音も
雨がすべへ
奏でる番

第14回 宮古島市民 総合文化祭 第25回宮古地区 中学校総合文化祭

オープニングセレモニー
日時:10月25日(金)10時~
場所:JTAドーム宮古島

児童・生徒の部

【展示部門】

- 書道 ●美術 ●文芸
- 工作 ●自由研究

日時:10月25日(金)~27日(日)
10時~18時(最終日は17時終了)
場所:JTAドーム宮古島

【発表部門】

- 音楽祭
- 日時:11月9日(土) 15時
場所:マティダ市民劇場
 - 郷土のお話大会

日時:11月30日(土)
場所:調整中

一般の部

【展示部門】

- 書道 ●美術 ●文芸 ●華道 ●茶道
- 生活文化 ●写真 ●盆栽 ●園芸
- 織物 ●方言 ●工芸 ●ガイア・アート

日時:10月25日(金)~27日(日)
10時~18時(最終日は17時終了)
場所:JTAドーム宮古島

【郷土史部門】

- 城辺地区史跡めぐり
- 日時:11月3日(日) 9時~15時
集合場所:調整中

【舞台部門】

- 音楽祭
- 日時:10月13日(日)
開場13時30分/開演14時
場所:マティダ市民劇場 入場料500円
 - 芸能祭

日時:12月22日(日)
開場17時30分/開演18時
場所:マティダ市民劇場 入場料500円
 - 芸術劇場

日時:令和2年1月19日(日)
場所:マティダ市民劇場
開演17時30分
入場料:調整中

児童・生徒の部 表彰式

日時:12月21日(土) 13時30分
場所:未来創造センター 大ホール

博物館より 臨時休館の お知らせ

くんじょう

館内燻蒸及び館内清掃のため、
9月10日(火)、11日(水)、18日
(水)、25日(水)は臨時休館いたしま
す。毎週月曜日は、通常どおり休館日とな
ります。



燻蒸作業の様子

岐阜県白川町／宮古島市(下地地区)



今年度は、8月1日(木)～3日(土)の日程で岐阜県白川町より児童15名・引率5名が来島しました。

児童が歴史・文化・産業・自然など生活環境の異なる他県を実際に見聞きし、さまざまな体験をとおして、広い知識と豊かな情報を育成するとともに、家族と離れ集団生活をする事により、家族の大切さ、自主性、協調性や思いやりの心を身につけ、資質向上を図るなどを目的とし、平成15年から行われている事業です。

8/1(木)

初日は長濱副市長を表敬訪問し、宮古島の産業・観光・自然について質疑応答を行いました。



白川町児童 副市長表敬



空港での歓迎式

8/2(金)

二日目は、下地地区の児童と交流を行いました。すぐに打ち解け、貝殻を使った工作や博物館見学、伊良部島・来間島観光を行ったほか、前浜ビーチでの海水浴では波に乗り大はしゃぎの様子でした。その後、公民館での平和学習、おいしいBBQ、三線ライブと楽しいひとときを過ごしました。



伊良部島 通り池



前浜ビーチ 海水浴



BBQ



平和学習



工作 フォトフレーム製作

8/3(土)

最終日には、地下ダム資料館で宮古島の地下ダムの仕組みを学習したり、東平安名崎の灯台で360度の大パノラマを満喫したりしました。その後、交流事業の全日程を終了し、帰路となりました。



地下ダム資料館



東平安名崎



連載 文化財を巡る

No.39



旧西中共同製糖場煙突の補修工事と ポイラー遺構の発見

七月十一日の地元二紙の一面で、旧西中共同製糖場においてポイラー遺構が発見されたことが報道されました。

旧西中共同製糖場は、一九四二年に設立され、二、三回の操業の後、旧日本軍の強制接収を受け操業停止に追い込まれ、戦後も使用されることはありませんでした。一九六〇年頃、地域生活環境の安全確保のため、戦時中に受けた弾痕により損傷の激しい煙突を撤去する動きがありました。工場設立に苦心した中村清一郎の業績の記念の一つとして、永く保存しようということになり現在に至っています。

旧西中共同製糖場跡は、宮古島の基幹産業である製糖業を象徴し、沖縄県内でも希少な昭和前期の製糖工場の遺構との評価を受けて、平成二五年六月に「旧西中共同製糖場煙突」として国登録有形文化財（建造物）に登録されました。また、平成二九年十一月二日には「旧西中製糖場跡」として宮古島市の史跡にも指定されています。修復工事前までは、二本あった内の煙突の一本と、隣接するポイラー冷却用の貯水槽を残すのみでした。

今回新たに見つかったポイラー遺

構は、煙突の修復工事のための足場の設置に伴い、煙突周辺の土地を整地した際に発見されました。発見前には土砂に埋まった状態で、これまでもその存在が確認されていませんでした。

ポイラー遺構は、煙突の南側から発見されました。煙突同様の煉瓦を用いて構築されており、長軸となる南西・北東方向に五、七呎、短軸の北西・南東方向に三、一呎の長方形型を呈しています。ポイラー遺構の中心部は四、八呎×一、四呎の長方形型に凹んだ状態になっており、この部分にポイラーを設置したものと考えられます。このポイラー遺構の周辺部には、基礎となるコンクリートを敷いている状況がみとれます。さらに、部分的ではありますが、このポイラー遺構を囲うようにしてコンクリートの壁が確認されています。当時の状況をうかがい知ることのできる写真には、煙突に隣接して建物が設置されている状況がみとれますので、このポイラー遺構は、建物内に位置し、コンクリートの壁はその建物遺構に伴うものである可能性がみとれます。

そして、このポイラー遺構から煙突にむけて、直進して湾曲する形で

煙道がのびて、煙突と接合しています。この煙道部分も煉瓦で構築されています。ポイラー遺構と煙道部分はいずれも上部構造は失われているため、ほぼ基盤の部分のみを確認することしかできません。

県内で、このような煙突が残されているのは、宮古島市の他に、うるま市と八重瀬町にそれぞれ一基が確認されており、残念ながら、今回のように、煙突と、冷却用の貯水槽、ポイラー遺構があわせて確認された事例は、今回の宮古島市の事例のみで、貴重な発見となりました。



第3回 宮古島文学賞

応募作品 短編小説 テーマ「島」

応募期間 令和元年10月1日(火)~31日(木)

応募資格 不問

応募条件

純文学・児童文学・推理・歴史・SF等ジャンルは問いません。

日本語で書かれ、未発表のオリジナル作品。

他団体の作品募集等との重複応募は出来ません。

あらすじを200字以内にまとめて作品に添付してください。

お問い合わせ先

一般社団法人 宮古島市文化協会事務局

TEL/FAX 76-6708

Mail : bunkakyo@miyako-ma.jp

2020年(令和2年)

宮古島市成人式

開催日 1月5日(日)

開場 13:30 開会 14:00

対象：平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれ

会場：宮古島市文化ホール(マティダ市民劇場)

主催：宮古島市 宮古島市教育委員会

【お問い合わせ】

宮古島市教育委員会 生涯学習振興課

TEL 77-4946 FAX 77-4957